あなたがテニスをやっている目的は何ですか？

いきなり質問ですみません（笑）。
考えてみたことはありますか？
あまり考えたことが無いのであれば、ぜひ一度考えてみると良いと思います！

私はプロテニスコーチの遠藤貴之と申します。テニスコーチ歴３０年。
テニスコーチ資格はＰＴＲ（国際プロテニス登録協会）のプロフェッショナル（最上位資格）および
ＰＴＲジュニアデベロップメントプロフェッショナル（ＰＴＲジュニア指導最上位資格）を有しております。
現在は神奈川県を中心に活動しております。
主な拠点は小田急藤沢テニスガーデンと言う神奈川県綾瀬市にある地域で４０年以上続いている
名門のテニススクールです。そこでキャプテンと言う役職（支配人的な役職）とジュニア育成チームの
統括責任者を務めております。さらには東京都日野市にある明星大学体育会硬式庭球部の監督兼コーチも
務めております。私がこれまでにコーチとしてどのようなことを学び、経験を積んで来たのか？経歴を含め
私の人となりをお伝えできるよう、以下に私の考え方や想いを少しお話しさせて頂きたいと思います。

私の指導理念はあなたへ答えではなく、物事に気づく『ヒント』を与えることです。
すなわち、**あなた自身が物事を深く考えられるようになることを促します。**
あなた自身にその『気づく』能力が身につくと物事の捉え方が多面的になり、解決策の選択肢などが増える
ことで『自分なりの答え』が出せるようになります。それにより前向きなマインドが育ち、様々な場面で
失敗のプロセスも『成功の基』と楽しめるようになり、挑戦できる自分を手に入れることができるように
なります。さらにその先では成功体験が増えてくるので自信が持てるようになり人生が豊かになるのです。
すなわち**テニスを通して自分らしい『オンリーワンの人生』を見つけること**ができるようになるのです。

あなたにそれを『掴んでもらう』こと。それをお手伝いするのが私の使命です。
テニスの上達とは少し話がズレたように思うかもしれませんが、実はこのプロセスがテニスの上達と
繋がっていると私は考えているので、そこを理念としている訳です。

したがってそれを実現するには、あなたに合ったヒントの与え方や与えるタイミングなどを見極める能力と
それらを使い分ける膨大なヒントの量（パズルのピースのような物）を持ち合わせる必要があります。
ただし、その使い方（指導法）については正直答えが無いので、常に様々なことに対してアンテナを張り
自らが様々な情報や刺激を求め、勉強し続けなければそれらを伝えることはできないのだと思います。

そこで私は現在に至るまでの間、自身の知識や考え方を広げるために様々な分野で活躍しているコーチ達の
門をたたきました。テニス強豪国の各テニス協会を代表するような、また特にジュニア育成に深く携わって
いるコーチ達（人材育成のプロフェッショナル達）のもとへ自ら足を運び、直接彼らの考え方や指導法に
触れて学び、吸収してきました。それは各分野で活躍されているスペシャリスト達の思考回路や指導法、
実践方法など、**現実的に結果を出している方々の視野、見識、知識や経験を勉強するため**でした。

その際、私自身が痛感しているのは、私自身の経験や考え方など所詮私の範囲でしかないと言うことでした。
だからこそ、自分の持っていない他者の考え方や取り組み、工夫などを上手く取り入れることが重要でした。
自分の今まで持っていた価値観や捉え方を変えて新たな物を受け入れると言うことはとてもパワーが必要です。
常にチャレンジ精神を持ち、自分以外の新たな見識を深めることで自分自身の成長を促してきました。

そのような私自身が様々な見識に触れたことで成長してきた経験から、あなたにも自分の考え以外の意見に耳を傾け、受け入れる広い心を養ってもらい、他者を尊重し、人から学んだ力を上手く活用しつつ自らをプロデュースし、未来を切り開いて行ける人になって頂きたいとの想いを込めて、日々の指導を心掛けております。

つまり『コーチとしての私の強み』は、豊富な人との関わりから導き出された彼ら世界で活躍するトップコーチ達が持ち合わせる共通のマインドや、それぞれのコーチが持つ個性、強み、思考などを必要に応じてカスタマイズしてお伝えできる点とそのアイディアをもとに実践してきた私自身の成功体験や考え方を併せてお伝えできる点にあります。すなわち各国の多様性に富んだコーチ達の取り組みや思考回路が裏付ける私のレッスンはあなたの新たな気づきを引き出して『新しい自分』と出会うお手伝いができるのです！

これら私の考えや想いを読んで頂いた上、『共感』して頂けた場合の私と貴方は考え方の周波数が合っている可能性が高いですね！目的を探したり、追及したり、本来そう言う『考えること』が好きなのだと思います。ぜひ一緒にテニスをやりましょう！一度レッスンにお越し下さい。新たな出会いを楽しみにしております！

以下は私が学び、研修した先であり、『現在の私を形成した代表的なコーチ達の経歴、滞在したアカデミー』などを羅列してご紹介いたします。ご参照下さい。（国別順不同）

・デニス・バンダーミーアコーチ【アメリカ】
ＰＴＲ（国際プロテニス登録協会）の創設者であり、４５年前に『段階的指導法（ＧＬＭ)』をテニスの技術指導に取り入れ、テニスを取り巻く科学（スポーツ科学）の重要性を説き、日本はもとより世界のテニス指導界に新風を吹き込んだ。『国際テニス殿堂』入りを果たしたテニスコーチ界のレジェンド。

・中村豊コーチ【アメリカ】
ＩＭＧアカデミーでフィジカルプログラムのディレクターを務め、錦織圭、Ｍ・シャラポワ、大坂なおみＤ・シャポバロフ選手などの専属トレーナーを歴任。

・ロバート・ディヴィスコーチ【アメリカ】
ＡＴＰツアーコーチを務め、主にアジア圏においてジュニア期からプロへ移行する期間の選手達のサポートをナショナルコーチとして活躍されている。※ＡＴＰ→男子プロテニス協会

・ダグ・マッカーディコーチ【アメリカ】
ＩＴＦ育成部門の主任を務め、１６０以上の国のテニス協会へのアドバイスや育成プログラムの導入コーチ教育、選手教育などを行い、世界的なテニスの発展に貢献した人物。※ＩＴＦ→国際テニス連盟

・サドルブルックテニスアカデミー【アメリカ】
元ハリーホップマンテニスキャンプ。ピートサンプラス、松岡修造、アンディーロディックなどが当時拠点としたテニスアカデミー。現在もツアートッププロが拠点としている名門アカデミー。

・マテックス・デ・ヴァイルダーコーチ【ベルギー】
ベルギーテニス連盟にてタレントジュニア選手育成、ベルギーのコーチ教育を行い、常に技術を戦術的観点から指導を実施し、長期的な選手育成への包括的アプローチを提唱している。
日本テニス協公認Ｓ級エリートコーチ養成にもたずさわり、ＩＴＦカンファレンスなどでも活躍。

・ダビッド・サンズ・リバスコーチ【スペイン】
スペインテニス協会コーチ教育・研究部門ディレクター。同協会タレント発掘プロジェクトメンバー
スペインナショナルオリンピック委員会ハイパフォーマンススポーツ学スポーツ科学分野にて博士号取得。
スペインのプロ選手達が世界での実績を築いた長期育成プラン、トレーニング法などスペインに見る
トッププロ輩出の極意などを各地で指導している人物。

・シント・カサノバコーチ【スペイン】
上海のチャイナエリートテニスアカデミーのフィジカルチーフコーチとしてＷＴＡ選手やＩＴＦジュニア
ランキングＮｏ.１をマークしたＸｕＳｈｉｌｉｎ選手を含む中国ナショナル女子チームのメンバーの
フィジカル部門を指導されている人物。

・ピータースミステニスアカデミー【オーストラリア】
・ピーター・スミスコーチ【オーストラリア】
ＴｅｎｎｉｓＡｕｓｔｒａｌｉａＬＥＶＥＬ３マスターコーチ（ツアープロの指導ができる数少ない
有資格者）元世界Ｎｏ．１のレイトンヒューイットを指導。言わずと知れたオーストラリアのレジェンド。

・ルーク・スミスコーチ【オーストラリア】
元全米カレッジ単・複優勝。デビスカップ候補選手。ピータースミステニスアカデミーヘッドコーチ。

・クリス・ケイチェルコーチ【オーストラリア】
元プロ選手最高位ＡＴＰ単７３位、複１９位。オーストラリアテニス協会にて育成部門のマネージャー
を務め、元ＷＴＡ４位のエレナドキッチを育てたコーチ。育成部門の経験を活かして各地のコーチへ
育成におけるテニス指導の着眼点を指導している人物。

・コンラド・シンコーチ【オーストラリア】
ＴｅｎｎｉｓＡｕｓｔｒａｌｉａＬＥＶＥＬ３エリートハイパフォーマンスコーチを有し
（オーストラリアで最も高い位置にある資格）ＡＴＰ、ＷＴＡのツアープレーヤー及びトップステージを
目指すジュニアを多数育成指導している人物。

・フヴォイエ・スマイッチコーチ【クロアチア】
クロアチアテニス協会１４歳以下ナショナルチーム担当。ＩＴＦ１４歳以下男子ジュニアチームの
トラベリングコーチ。クロアチアオリンピック協会コーチ教育部門責任者。
ＩＴＦテニスディベロップメント部門ヨーロッパ担当責任者。
最新のテニスに順応できる選手育成について提唱。

・ジャンーフィリップ・フルーリアンコーチ【フランス】
プロテニスプレーヤーとして１５年間活動。シングルス最高３７位。全盛期にはボリスベッカー
ステファンエドバーグ、アンドレアガシにも勝利しフランスのデ杯代表としても活躍した。
引退後はアメリカテニス協会でトレーナーを務めるほかＩＴＦの報道官や選手とのコミュニケーション
を担当、近年では自身がトッププレーヤーになるまでの成長過程の成功例を基に選手育成ツールの開発
も行っている。特にメンタルトレーニングの権威であるアルベルト・カステラーニ氏から受けたメンタル
指導を軸に結果が出せる選手育成をメンタルの側面から考案されている人物。

・マーク・バービエコーチ【フランス】

フランステニス協会Ｕ－１４・１６ジュニア強化育成部門にて指導されている人物で
現在のフランス男子プロの活躍をジュニア時代から支え、成功へ導いた実績を持つ。

・ミクロシュ・ホーノコーチ【ハンガリー】

２０１０～２０１４年にハンガリーのデビスカップキャプテンを歴任。
ハンガリーのジュニアナショナルコーチとしてジュニアグランドスラムで活躍する選手を多く
育ててきた経歴があり、主にジュニア育成のスペシャリストとして活躍している。

・中山芳徳コーチ【日本】

日本テニス協会強化育成本部選手育成委員長。ナショナルジュニア女子ヘッドコーチ。ＪＯＣ専任コーチ。
ジュニアフェド杯代表監督としてジュニアフェド杯世界大会準優勝へ導いた経歴がある。
世界のエリートとの対戦を踏まえた計画的な選手強化を通して現場で培ったノウハウを広めている。

・山中夏雄コーチ【日本】

盛田テニスファンドの専属コーチとして渡米。現在はＩＭＧアカデミーを拠点として錦織、内山
西岡、望月をＡＴＰツアー選手に導いた知将。弱肉強食の世界で戦い続けた少年達がどのように世界の
トップ選手に登りつめたのか、どういったことに取り組まなければいけないのかと言うノウハウを
持っている日本人で唯一のコーチ。最近注目の全豪ＯＰジュニアで優勝した坂本怜のコーチ。

・杉田高章コーチ【日本】

小田急藤沢テニスガーデン校長。私の３０年に渡るテニスコーチ人生の師匠。テニスのことだけでなく
人としての在り方など多肢にわたり現在の私に大きく影響を与えて頂いた人物。

★これまでの私と関わってくれたコーチ仲間達

これまで私と関わってくれた各地の様々な個性を待ったコーチ仲間達に支えられ、学ばせて頂いたことで
今があります。感謝の気持ちでいっぱいです。今後、恩返しができるように活動して行きます。

さらに**私自身がテニスだけでなく『ビーチテニス』※１や『ウェーブストレッチ』※２など他の分野でも
指導をしている関係でテニス以外の柔軟な視点を持ち併せているため、何か違う角度から物事をお伝えできる
可能性もあります。**

※１ビーチテニス：砂の上で行う競技で、ビーチバレーとバドミントンを融合させたようなノーバウンドで
打ち合うラケットスポーツです。ＩＴＦ（国際テニス連盟）傘下で国際大会も開催される。
砂上での身体的バランス感覚やボレー、スマッシュの技術向上などテニス選手には必要な
要素がたくさん入っているのでチャレンジされることをお薦めします！
・私は日本ビーチテニス連盟認定の指導資格を有しております。

※２ウェーブストレッチ：ウェーブストレッチリングと言う道具を使って様々なボディーケアやトレーニング
ができます。怪我をしない体の使い方やケアなどは日頃から習慣にしておく必要が
あると思います。そういったことに役立ちます。
・私は日本ウェーブストレッチ協会認定の指導資格を有しております。

≪指導させて頂いた生徒さん達の実績≫

全日本ジュニア３位／インターハイ個人、団体出場／インカレ出場／女子連ブロックシングルス卒業／ピンクリボン全国準優勝／全国レディース県代表／ベテランＪＯＰ優勝／市選手権優勝／県選手権準優勝／ビーチテニス世界国別団体戦Ｕ１４日本代表　など。

≪自分の競技歴≫

テニスを始めたのは高校からです。しかも弱小テニス部で全く競技とは無縁でした。さらに大学でも体育会でやっておりましたが、これまた競技を高めたと言うより『社会の縮図』、『人格形成』を学んだと言う感じで、真直ぐに競技テニスと向き合って取り組んだと言う経験がほぼ無いままこちらの世界へ。高校も大学も指導者と言う存在に触れたことが無く、『テニスコーチ』と呼ばれる、いわゆるプロコーチからテニスと言うものを初めて教えて頂いたのが２２歳の時でした。衝撃を受けました。
したがって自身ではジュニアテニスを経験しておりません。本格的にテニス競技と向き合ったのは社会人になってからです。草トーから始まり、一般ＪＯＰ大会に出始めてから約３年後に勝てるようになってきて日本ランキングの最高位は２１４位。この頃は市選手権優勝や都市対抗代表選手で単複戦ったりしました。その流れで徐々にレッスンに人気が出てきたことで仕事が忙しくなり、レッスンで試合に出られなくなり徐々にフェードアウトしました。大会賞金でティファニーの結婚指輪を買えたことが唯一形として残った物です（笑)。試合には出なくなってしまいましたが、社会人から本格的に取り組んでも３年くらいあれば勝てるようになることは身をもって体験しました（ツアープロやトップレベルはまた別の次元です)。そのノウハウがあれば生徒さん達に戦績を出してもらえることもわかりました。なので、教え子の方が戦績も良く優秀です！また、人としての成長がテニスの成長と繋がっていることやテニスを通じて学んだことが自分の人生に大きく影響していることも理解しました。
この経験と理解こそが私の財産です。今後は今流行りのベテランＪＯＰ大会（年齢別公認大会）などに参戦して自らのプロデュース力に挑戦してみたいとも思っております。そう言ったことの積み重ねで自身の『オンリーワン人生』に近づけることで、自らの指導方針を体現したいと考えております。
まだまだ挑戦の道は続きます！皆様と一緒にその歩みを共有させて頂けましたら幸いです。